

6—4 北西部地域のまちづくりのテーマ・方針

◆まちづくりのテーマ

**豊かな田園風景と憩いある住環境が調和し、
港の賑わいと産業の活力あふれるまち**

◆主なまちづくりの方針

- ◆都心軸沿線の中心商業・業務地区では、地区計画などの活用により一定規模の土地利用を促し、商業・流通・業務機能の誘導を図ります。
- ◆無秩序な市街地の拡大を抑制することにより、農業環境保全活用地区に広がる農地と良好な田園風景を保全します。
- ◆石川県立中央病院周辺においては、病院機能を活かした医療・福祉・健康施設を配置するための市街地基盤整備を推進します。
- ◆金沢港では、物流・交流拠点としての機能強化を進めるとともに、クルーズターミナルを核とした賑わいの創出を図ります。
- ◆外環状道路(海側幹線)の整備を着実に進めることで、都市内道路ネットワークの構築と緊急輸送道路機能の強化を図ります。
- ◆浅野川、大野川、大宮川などの河川や内水を適切に管理し、必要な整備を図ることにより、水害に強いまちづくりを推進します。

土地利用の方針

- 都心軸沿線の中心商業・業務地区では、地区計画などの活用により一定規模の土地利用を促し、商業・流通・業務機能の誘導を図ります。
- 住宅専用地区や一般住宅地区では、適正な土地利用の誘導により、良好な住環境を維持していきます。
- 住宅や工場などが混在する産業地区では、特別用途地区などの活用により、住環境と産業の調和のとれた土地利用を図ります。
- 地域住民との協働による地区計画やまちづくり協定の活用により、きめ細かな土地利用を推進し、良好な住環境の保全、創出を図ります。



▲都心軸沿線

第6章 地域別のまちづくり方針



▲金沢港

- 市街地の主要な幹線道路の沿道(沿道活用地区)では、日常生活に必要な施設の立地を誘導します。
- 金沢港周辺では、港湾活用型企業の集積を図るなど、生産機能地区としての土地利用を推進します。
- 無秩序な市街地の拡大を抑制することにより、農業環境保全活用地区に広がる農地と良好な田園風景を保全します。

市街地基盤づくり



▲石川県立中央病院

- 石川県立中央病院周辺においては、病院機能を活かした医療・福祉・健康施設を配置するための市街地基盤整備を推進します。
- 金沢港では、物流・交流拠点としての機能強化を進めるとともに、クルーズターミナルを核とした賑わいの創出を図ります。
- 生活拠点では、商店街の空き店舗対策などにより、地域住民が日常的に必要な買い物ができる商業機能を維持し、生活利便性の確保を図ります。

交通体系づくり

- 外環状道路(海側幹線)の整備を着実に進めることで、都市内道路ネットワークの構築と緊急輸送道路機能の強化を図ります。
- 公共交通ネットワークの充実に向け、公共交通重要路線を中心に利便性向上を図るとともに、日常生活に必要な地域住民による移動手段の確保を促進します。
- 既存公共交通の利用促進や市民意識の醸成を図るとともに、新しい交通システムの導入に向けて環境整備を進めます。
- 公共交通重要路線沿線を中心にパーク・アンド・ライドを推進するとともに、バス専用レーンの拡充などによる利用環境の向上を図ることで、マイカーから公共交通への利用転換を推進します。
- 隣接市町が運行するコミュニティバスなどと連携し、市域を越えた運行拡充の検討を進めます。

憩いの場づくり

- こなん水辺公園や金沢城北市民運動公園は、広く市民や来訪者のスポーツ・レクリエーションや憩い、交流の場となる緑の拠点として維持・充実を図ります。
- 浅野川や西部緑道は、多様なレクリエーションや交流などを促すネットワークとして整備・活用を図ります。



▲こなん水辺公園

農林基盤づくり

- 田園地域では、農業を支える集落環境の維持や再生につながる取組を進めます。

自然と歴史を活かした景観づくり

- 金沢港周辺では海の玄関口にふさわしい魅力ある景観を形成します。
- 都心軸の沿線では、周辺の市街地景観と調和する開放感と洗練さを感じられる街並み景観を形成します。
- 一般住宅地区などでは、建築物の形態意匠や色彩などへの周辺環境に配慮した適切な景観誘導を図ることで、良好な都市景観を形成します。
- 諸江通りでは、地域住民との連携による沿道の屋外広告物の規制誘導や清掃活動などにより、良好な沿道景観の形成を図ります。
- 外環状道路(海側幹線)などの幹線道路の沿道では、建築物や屋外広告物などの適切な景観誘導により、魅力ある沿道景観の創出を図ります。
- 河北潟では、ヨシ原の保全、再生や水質浄化により、野鳥や魚類、水生植物の生息環境を保全します。
- 浅野川などの潤いのある水辺環境や景観の保全・創出を図ります。



▲金沢港クルーズターミナル イメージパース



▲諸江通り

第6章 地域別のまちづくり方針

安全安心な環境づくり

- 風害、塩害、飛砂防止帯として、保安林などの保全、育成を図ります。
- 浅野川、大野川、大宮川などの河川や内水を適切に管理し、必要な整備を図ることにより、水害に強いまちづくりを推進します。
- 緊急時の避難路の確保など地域の防災性を高めるため、建築物の耐震化を積極的に促します。

生活基盤づくり



▲臨海水質管理センター

- 臨海水質管理センターなど供給処理施設の更新などを計画的に実施し、ライフサイクルコストの低減を図ります。
- 上下水道、ガスは、定期的な点検などのほか、地域住民・町会・事業者などからの通報などの様々な協働により、不良箇所の早期発見と迅速な対応に努めます。

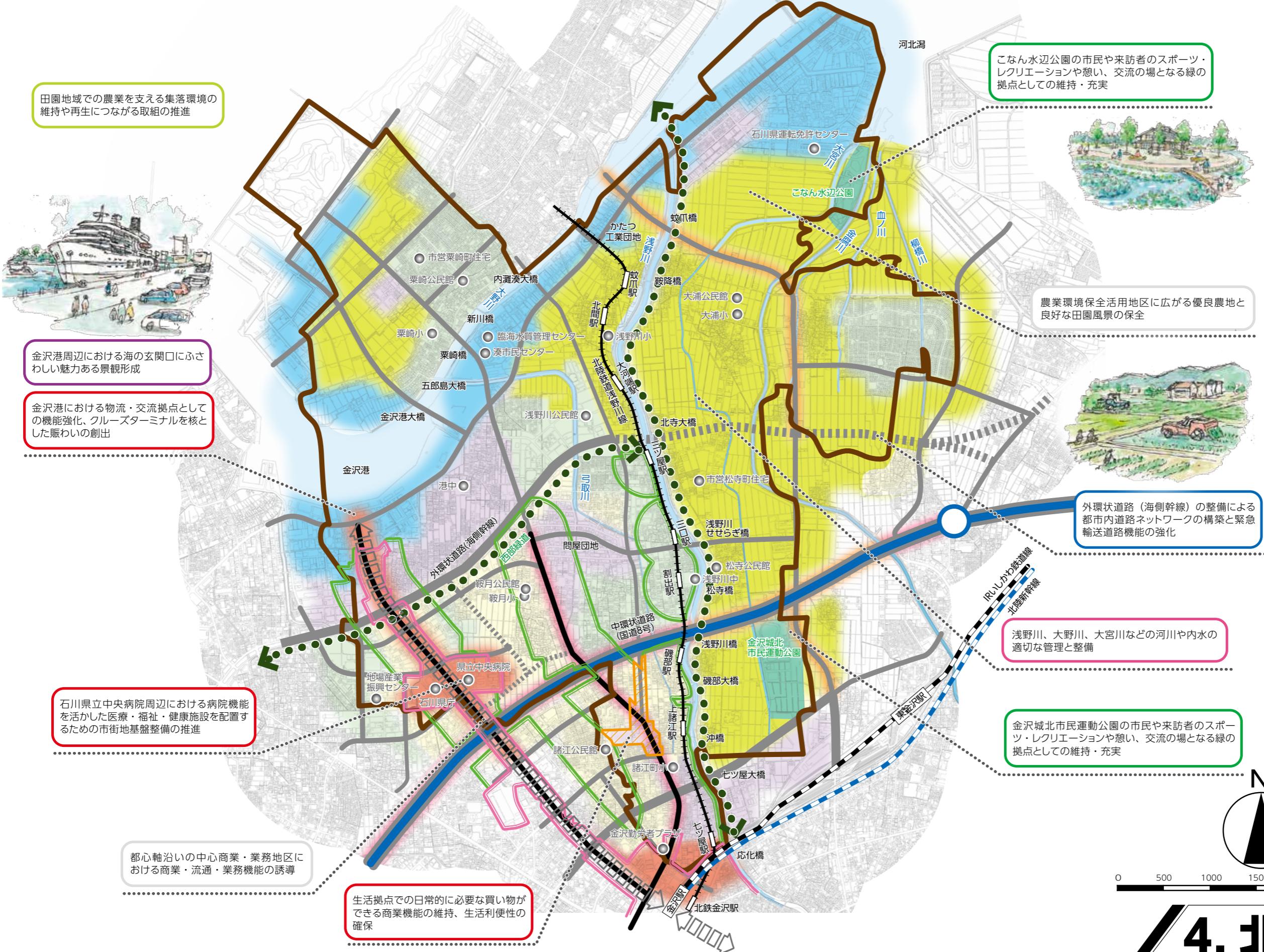
市民生活を支える施設づくり

- 高齢者福祉や子育て支援をはじめとする公共施設の計画的な整備・更新を行い、施設の安全性の確保や快適な市民サービスの提供を図ります。

市民参加・協働のまちづくり方針

- 町会加入率向上や地域活動への参加促進など地域コミュニティの醸成を図るとともに、まちづくりの担い手の育成と多様な市民活動、組織への支援を推進します。
- 地域の活性化に向けた活動など、地域住民が主体となった取組への支援を行いながら、市民協働によるまちづくりを推進します。

『豊かな田園風景と憩いある住環境が調和し、港の賑わいと産業の活力あふれるまち』



凡例(図面)	
【土地利用区分】	
● 住宅専用地区	一般住宅地区
■ 中心商業・業務地区	生産機能地区
■ 産業地区	産業地区
■ 沿道活用地区(市街地)	沿道活用地区(市街地以外)
■ 農業環境保全活用地区	
【その他】	
● 主な公園緑地	緑のネットワーク
● 環状道路	主な道路
— 都心軸	都心軸
● 主な施設	主な施設
■ 地域界	
【公共交通重要路線】	
— バス路線	JR道(iri)しかわ鉄道線
— 鉄道(JR)しかわ鉄道線	JR北陸鉄道
【集約都市形成計画】	
■ 居住誘導区域	都市機能誘導区域(都心拠点)
■ 都市機能誘導区域(都心拠点)	生活拠点
凡例(方針)	
● 土地利用の方針	市街地基盤づくり
● 市街地基盤づくり	交通体系づくり
● 交通体系づくり	憩いの場づくり
● 憩いの場づくり	農林基盤づくり
● 農林基盤づくり	自然と歴史を活かした景観づくり
● 自然と歴史を活かした景観づくり	安全安心な環境づくり

4. 北西部地域

校下(地区)名：諸江・浅野川・鞍月・栗崎・川北・大浦